

2022 年度前期授業改善計画のまとめ

カテゴリー	No	設問	評定平均		改善計画に向けた主なコメント
			学生	教員	
A.目標の理解度	1	シラバスや最初の講義等で、この授業の目的や目標を理解して受講した。	4.41	4.58	ゼミに関しては説明が少なかった。シラバスを印刷して説明した。第 1 回の授業で授業目的・目標を伝えてた。数値が低い授業についてはより詳しく説明に努る。授業内のコミュニケーションについて強く説明した。初回授業を欠席した学生への対応は課題。
B.教授手法	2	この授業は適度な早さで進められ、分かりやすかった。	4.31	4.31	クラスのレベルに合わない場合、全学生に満足がいく授業をするの難しい。現状に合わせるとシラバスの内容にあわせるのが難しい。途中遠隔授業に切り替わった。学生の反応が鈍いことがある。日本人学生内でも、留学生との間でも、理解度の差があり対応に苦慮している。その他早口にならないよう注意する。
	3	教員の声の大きさや話し方は、分かりやすかった。	4.36	4.42	留学生には英語を用い簡単な日本語やふりがなも用いた。マスクがあると発声し難い、学生は聞き難いと思う。授業によってはハンドマイクを持参した。初回授業時に、静かに聞くよう依頼し学生の協力を得られた。
	4	黒板やホワイトボードの（オンラインの場合は画面に表示された）文字や資料、パワーポイント等の内容は、分かりやすかった。	4.33	4.27	学生の様子を伺いながら適宜調整できた。課題提示について柔軟に対応した。毎授業 PP 資料を準備した。一部の科目で低評価だったので対応する。わかりやすい動画編集のため時間をかけて授業動画を作成した。理論が難解な授業では視覚的に理解を促すように工夫した。学生の興味を引く情報を織り交ぜた。
	5	この授業は、予定時刻通りに始まり、予定時刻通りに終了していた。	4.48	4.35	時間管理、定刻開始・終了に注力している。遠隔授業・配信動画は十分な学習時間を確保できた。資料の印刷に時間がかかった。バスの時間に合わせ授業が終わるよう改善したい、シラバスの改善から取り組む。体調不良により授業に遅れ、急きょ変更したことを学生に詫び次学期から初回授業時に十分な説明を行う。
C.教員の対応	6	教員は、学生の遅刻や私語などにきちんと対応し授業の適切な運営維持に努めていた。	4.39	4.31	遅刻の不利益を伝え注意した。グループワーク内のメリハリを意識した。遅刻は自己責任だが配慮した。換気のためドアを開けており確認が難しかった。遅刻の理由を聞き、私語は必ず注意する。多くの学生が授業に関係ないスマホ操作をすることがあるので大学全体で対応をすべき。
	7	この授業では、学生の相談や質問等に対し、教員は分かるように対応していた。	4.42	4.42	質疑応答の時間を講義中に設けた。Google Classroom の質問対応を行った。オフィスアワー以外でも対応した。遠隔授業においても質疑を設けたが活用されなかった。学生に話しかけて発言を引き出した。授業後の質問対応に努めた。
D.自学・能動的学習	8	この授業に関する参考図書を読んだり、各種情報（新聞・雑誌、Web など）を自分で調べたりした。	3.96	4.31	授業では文献や動画を紹介したがシラバスでは不十分だった。反転授業で学生自ら学ぶことを徹底した。初回授業で教科書の展開を事前説明した。学生自身でコンテンツを見るよう指導した。Google Classroom で課題を出したが低評価だった、次回以降対応に悩んでいる。
	9	この授業では、授業外学習（予習復習・課題など）の必要性や内容についてきちんと説明があった。	4.24	4.31	努力するよう説明したが、授業によっては伝わっていなかった。留学生の理解不足に対しさらに工夫を要する。反転授業・ふりかえり（プロセス）の重要性を説明した。毎回、教科書の予習復習部分を提示した。目標に対し必要な学習項目を説明しました。
E.目標達成度	10	この授業では、シラバスや講義等で示されていた目標に到達することができた。	4.34	4.35	学生教員が共通意識を持つよう常に意識した。遠隔課題で丁寧な対応と総体的な理解に努めた。シラバス通り授業展開できた。能力別の到達目標を意識した。おおむね達成できた。演習授業では個人差がある。全体的な底上げは出来た。
F.満足度	11	この授業は全体として満足できる内容だった。	4.35	4.08	学生の協力と寛容さに助けられた。以前に比べ反転授業が成立してきた。学生主体の学びができた。質議の時間をもっととりたい。学生とのコミュニケーションや雰囲気が良かった。学生が楽しく学べ満のいく授業が出来た。
G.その他	12	対面授業における教室の広さや室温は、学生が学びやすいように配慮した。	4.42	4.31	受講者数 100 名以上の場合、西山ホールでも十分な感染対策は取れない。ウエスレー館教室のエアコンが後ろにあり前方の学生は暑い。教室や人数により配慮できない。授業によっては適切な広さではなかったが空き教室がなかった。指摘のとおりエアコンが作動しない時があった。

以降の設問については省略。